

後発医薬品（ジェネリック医薬品）とは

後発医薬品（以下、ジェネリック医薬品。）は、先発医薬品の特許が切れた後に製造販売される、先発医薬品と同じ有効成分、同じ効能・効果を持つ医薬品のことです。

ポイント1:先発医薬品より安価で、経済的です。

ポイント2:効き目や安全性は先発医薬品と同等です。

ポイント3:欧米では、幅広く使用されています。

- ・当院は、ジェネリック医薬品の使用促進に積極的に取り組んでおります。
- ・当院は、医薬品の供給が不足した場合に治療計画等の見直しを行う等、適切に対応する体制を有しております。
また、医薬品の供給状況により、投与する薬剤が変更となる場合がございますが、その際には入院患者さんへ十分な説明を行っております。

一般名処方とは

当院は一般名処方を行っております。

処方箋には調剤される医薬品が記載されていますが、医薬品の商品名を記載する場合と、一般名(有効成分の名称)で記載している場合があります。

このうち、医薬品の名前を一般名で記載して、処方することを一般名処方といいます。

一般名処方で記載された処方箋では、有効成分が同一である医薬品が複数あれば、先発医薬品でもジェネリック医薬品でも、薬剤師と相談して選ぶことが出来ます。更に、対象の医薬品が供給不安定になった場合でも、同じ成分である別の医薬品に変更することが可能です。上記内容に関してご不明な点がございましたら⑤おくすりカウンターまでお声がけ下さい。